

スポーツにおける薬剤の誤用や乱用によるドーピングの防止についての 基本的な考え方

背景

スポーツにおける成績向上を目的とした薬物の乱用は世界中のスポーツ関連団体や公的機関にとって深刻な公衆衛生上の問題です。ドーピングは主に、販売中の医薬品や新しく開発中の化合物の誤用や乱用によって行われています。

2010年7月、国際製薬団体連合会（IFPMA）と世界アンチ・ドーピング機構（WADA）は、スポーツにおけるドーピング撲滅に向けて協力する旨の共同声明に署名しました。さらに、共同声明の目標を達成するための案内書として「2つの分野で1つの目標へ：科学とスポーツの健全性を守るために」*¹を発行し、この協力を具体化しています。同時に、「考慮すべき点：ドーピングに使用される可能性のある化合物の特定とWADAとの情報共有」*²という冊子を発行しています。この2つの文書は、スポーツにおけるドーピング撲滅に向けて製薬業界がどのようにWADAを支援できるかについて、指針を示しています。

基本的な考え方

アステラスはこの国際的な取り組みを支持し、本分野における社会的責任を果たせるように取り組みます。その一環として、アステラスはドーピング撲滅に向け、またそれを通じて公衆衛生の向上に貢献するために、WADAとの協約を締結しました。アステラスはWADAと次のように協力します。

- スポーツ関連ドーピングで乱用の可能性のある開発品を特定します。
- ドーピングの可能性のある化合物を検出する方法の開発を支援するため、これらの化合物の関連情報をWADAに提供します。
- 乱用される機会をなくすため、ドーピングに使用される可能性のある治験中の化合物が誤用されないように取り組みます。
- アステラスの薬剤がドーピングに使われた場合、それを告知するため、WADAと協力して適切なコミュニケーション計画を立案します。

参考資料

1. 2 Fields 1 Goal: Protecting the Integrity of Science and Sport
http://www.ifpma.org/wp-content/uploads/2016/01/FINAL_2_FIELDS_1_GOAL_Brochure-071612.pdf

2. Points to Consider: Identification of Compounds with Potential for Doping Abuse and Sharing of Information with WADA

http://www.ifpma.org/wp-content/uploads/2016/01/FINAL_2_FIELDS_1_GOAL_Points_to_Consider_Booklet_20120717_.pdf